

# 平成30年度 全国学力・学習状況調査結果について

## 1 全国学力・学習状況調査について

平成30年4月17日（火）に全国の小学6年生、中学3年生を対象に、全国学力・学習状況調査が実施されました。今年は、国語、算数・数学に加え、理科も調査となりました。国語と算数・数学についてはA問題とB問題があり、A問題は、主として「知識」に関する問題であり、身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようなっていることが望ましい知識・技能などの内容となっています。B問題は、主として「活用」に関する問題であり、知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し、評価・改善する力などにかかわる内容となっています。これらの問題のほか、児童生徒質問紙で、学習意欲や学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する内容が聞かれています。南部町では、小学6年生107名、中学3年生110名が調査に臨みました。

この調査から児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てたいと思います。



## 2 各教科に関する調査結果について

※南部町が3ポイント以上上回るものは○、3ポイント以上下回るものは△で表示しています。

	南部町	鳥取県	全国	南部町一県	南部町一全国
小国語A	71.0	71.0	70.7	0	+0.3
小国語B	54.0	55.0	54.7	-1.0	-0.7
中国語A	73.0	76.0	76.1	-3.0	△
中国語B	56.0	60.0	61.2	-4.0	△
小算数A	62.0	62.0	63.5	0	-1.5
小算数B	50.0	50.0	51.5	0	-1.5
中数学A	63.0	66.0	66.1	-3.0	△
中数学B	42.0	45.0	46.9	-3.0	△
小理科	63.0	60.0	60.3	+3.0	○
中理科	66.0	66.0	66.1	0	-0.1

### 3 児童生徒質問紙に関する調査結果について

#### 【小学校】

肯定的回答率が高かった項目【小学校】				
質問事項【自分自身に関すること】	肯定的な回答%			
	南部町	鳥取県	全国	全国比較
1. 学校のきまりを守っていますか	98.1	90.1	89.5	+8.6
2. いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	99.0	97.4	96.8	+2.2
3. 人の役に立つ人間になりたいと思いますか	97.2	95.9	95.2	+2.0
質問事項【家庭・地域に関すること】	肯定的な回答%			
	南部町	鳥取県	全国	全国比較
1. 今住んでいる地域の行事に参加していますか	84.1	78.2	62.7	+21.4
2. 家で予習・復習やテスト勉強などの自学自習において、教科書を使いながら学習していますか	83.1	74.1	69.9	+13.2
3. 地域社会などでボランティア活動に参加したことがありますか	48.6	44.8	36.1	+12.5
4. 5年生までに受けた授業や課外活動で地域のことを調べたり、地域の人と関わったりする機会があったと思いますか	86.9	78.2	74.4	+12.5
質問事項【学習に関すること】	肯定的な回答%			
	南部町	鳥取県	全国	全国比較
1. 算数の問題の解き方が分からないときは諦めずにいろいろな方法を考えますか	86.9	81.7	78.4	+8.5
2. 理科の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	80.4	75.9	72.9	+7.5
3. 算数の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか	92.6	87.3	85.8	+6.8

肯定的回答率が低かった項目【小学校】				
質問事項【自分自身に関すること】	肯定的な回答%			
	南部町	鳥取県	全国	全国比較
1. 将来の夢や目標を持っていますか	74.8	81.5	85.1	-10.3
2. 自分には、よいところがあると思いますか	81.3	83.6	84.0	-2.7
質問事項【家庭・地域に関すること】	肯定的な回答%			
	南部町	鳥取県	全国	全国比較
1. 家の人（兄弟姉妹除く）と学校での出来事について話をしますか	75.7	79.8	80.5	-4.8
2. 地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか	45.8	46.5	49.9	-4.1
3. 地域や社会で起こっている問題や出来事に 관심이ありますか	60.7	62.1	63.8	-3.1
質問事項【学習に関すること】	肯定的な回答%			
	南部町	鳥取県	全国	全国比較
1. 将来、理科や科学技術に関係する職業に就きたいと思いますか	15	24	26.1	-11.1
2. 今、社会のことがらや自然のことがらに、「不思議だな」「おもしろいな」などと思いますか	74.8	77.6	82.0	-7.2
3. 観察や実験を行うことは好きですか	86.0	88.1	89.8	-3.8

【中学校】

肯定的回答率が <b>高かった</b> 項目【中学校】				
質問事項【家庭・地域に関すること】	肯定的な回答%			
	南部町	鳥取県	全国	全国比較
1. 今住んでいる地域の行事に参加していますか	62.7	53.6	45.6	+17.1
2. 地域社会などでボランティア活動に参加したことがありますか	62.7	59.6	51.8	+10.9
3. 1、2年生までに受けた授業や課題活動で地域のことを調べたり、地域の人と関わったりする機会があったと思いますか。	76.4	70.4	68.7	+7.7
質問事項【学習に関すること】	肯定的な回答%			
	南部町	鳥取県	全国	全国比較
1. 数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	79.1	75.4	72.9	+6.2

肯定的回答率が <b>低かった</b> 項目【中学校】				
質問事項【自分自身に関すること】	肯定的な回答%			
	南部町	鳥取県	全国	全国比較
1. 先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか	76.4	85.3	82.2	-5.8
2. いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	90.0	95.7	95.5	-5.5
3. 人の役に立つ人間になりたいと思いますか	90.0	95.9	94.9	-4.9
質問事項【家庭・地域に関すること】	肯定的な回答%			
	南部町	鳥取県	全国	全国比較
1. 家で、学校の授業の予習・復習をしていますか	31.0	47.3	55.2	-24.2
2. 地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がありますか	47.3	60.6	59.3	-12.0
3. 地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか	27.3	37.2	38.7	-11.4
質問事項【学習に関すること】	肯定的な回答%			
	南部町	鳥取県	全国	全国比較
1. 数学の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考えますか	53.7	66.1	69.2	-15.5
2. 理科の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか	32.7	42.5	45.4	-12.7
3. 数学の授業で公式やきまりを習うときその根拠を理解するようにしていますか	59.1	70.4	70.4	-11.3



#### 4 各教科の結果に関する考察

##### 【国語】

小学校A「知識に関する問題」は、若干上回っています。特に「書く能力」は、高い正答率でした。ほとんどの児童が正答率50%以上であり、学習内容がしっかりと身に付いていると言えます。文中で漢字を使う設問では、正答率が低かったり、若干無解答率が高かったりしました。文中で漢字を書くことや同音異義の漢字の意味をしっかりと理解する必要があります。B「活用に関する問題」は、若干下回っています。特に、目的や意図に応じて、内容の中心を明確にして書いたり、読んだりする設問、他と比較して書く設問に課題が見られたので、目的や意図を意識して書く、比較して書く活動を重視して取り組みたいと思います。

中学校A「知識に関する問題」、B「活用に関する問題」とも下回っています。特に「話す・聞く能力」「書く能力」に課題が見られました。その中で、比較的「読む能力」の正答率がよいのは、小学校から中学校へと継続して読書活動が推進されていることが要因と考えられます。課題が見られたり、無解答率が高かったりした設問は、話題や方向を捉えて的確に話すことや相手に的確に伝わるようにあらすじを捉えて書くこと、文中で漢字を書くことでありました。活用する力を意識して取り組むこと、相手や目的を意識して活動する必要性があります。

##### 【算数・数学】

小学校A「知識に関する問題」は、若干下回っています。その中で、「数量や図形についての技能」は、高い正答率でありました。除法（わり算）で表すことができる二つの数量関係を理解する設問が課題です。除法に限らず、問題場面において数量関係を理解し、数直線上に表したり、立式したりする力が必要であります。B「活用に関する問題」は、若干下回っています。その中で、「数量や図形についての知識・理解」が落ち込んでいます。「数量や図形についての知識・理解」については、A「知識に関する問題」においても正答率が低く、知識と活用の両面において課題として表れています。課題が見られたり、無解答率が高かったりした設問は、「条件に合うものを見いだす」「規則性を解釈し、条件に合うものを判断する」「示された数量を関連付け根拠を明確に記述できる」でありました。数ある選択肢から条件に合うものを見つけたり、関連付けたりする力を身に付けることが課題です。

中学校A「知識に関する問題」は、平均を下回っています。特に「数量や図形についての技能」の正答率が低い結果でした。学習の中で図や表を作成したり、図を描いたりするなどの操作学習を積極的に取り入れる必要があります。また、方程式に関する問題に課題が見られるので、重点単元として取り組みたいと考えます。B「活用に関する問題」も下回っており、A「知識に関する問題」よりもさらに差が開いています。課題が見られたり、無解答率が高かったりした設問は、「与えられた情報を分類整理する」「事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明する」でありました。分類・整理する過程や問題解決型の学習方法を取り入れる必要があると考えます。



## 【理科】

小学校においては、平均を3ポイント程度上回っています。特に「自然事象についての知識・理解」は8ポイント以上、「観察・実験の技能」は3ポイント以上上回っています。このことから、小学校においては、学習の中で児童が積極的に観察や実験に取り組んでいることがわかります。正答分布を見ても、30%以下の児童は非常に少なく、多くの児童が理解していることが伺えます。課題が見られた設問は「実験結果を基に分析、考察し、その内容を記述する」でありました。結果を基に、正確に記述する力が求められています。

中学校においては、平均とほぼ同じです。中学校においても「自然事象についての知識・理解」は2ポイント上回っています。特にヒトの神経系の働きについて知識を問う問題では、全国比より24ポイント以上高い結果が出ています。一方、「観察・実験の技能」が2ポイント以上下回っているため、中学校においても、生徒が積極的に観察や実験に取り組む授業改善が求められます。小中学校で学習系統や授業内容を共有し、改善すると共に、個別の指導により、理科に関する知識・理解を高める必要があります。課題が見られた設問は、「台風の進路を決める条件の指摘」「電流値の読み取り」「植物の葉などから水蒸気が出る蒸散に関すること」でありました。観察、実験の取り組みと同時に、日常生活に関する理科の事象をいかに自分たちの問題として捉えさせるか工夫した授業展開を行っていきたいと考えます。

## 5 児童生徒質問紙の結果に関する考察

### 【自分自身に関すること】

小学校では、学校のきまりを守っているという意識が高く、いじめに関することや人の役に立とうという意識も高いです。一方で将来の夢や目標、自分のよさについての認識が低い結果になっています。

中学校においては、自分自身に関することで肯定的回答が全国と比べて全て低い結果が出ています。小学校で肯定的回答が多かったいじめに関すること、人の役に立とうという意識が低くなっています。小中学校の一層の連携が求められています。また中学校では、先生がよいところを認めてくれるという項目が全国と比べて一番回答が低かったです。子どもたちのよいところを積極的に褒める姿勢や子どもたちの心に響く伝え方が求められています。

### 【家庭・地域に関すること】

小中学校とも、地域の行事やボランティア活動に積極的に参加しており、これまでの授業や活動でも地域のことを調べたり、地域の人と関わったりする機会を多く持っています。一方で地域や社会をよくするために考えたり、地域や社会で起こっている問題に関心をもったりしている子どもたちが少ないのが現状です。小中学校で「まち未来科」を実践していますが、「ふるさと愛着力」「将来設計力」「社会参画力」「人間関係調整力」をいかに育てていくか学習内容や授業を再検討する必要があります。また小学校では、家庭学習に対する意識が高いのに対し、中学校では、家庭学習における授業の予習や復習が十分でない結果が出ています。中学校での家庭学習の充実が課題です。

## 【学習に関すること】

小学校では、算数においてあきらめずに解いたり、解き方や自分の考えをノートに書いたりする姿が見られます。一方で理科は社会に出たときに役立つと感じているものの**科学技術に係る職業に対しての憧れや日常生活における理科に関する事象への興味関心の意識は低い**です。

中学校においては、数学は社会に出たときに役立つと感じています。一方で、数学で学習する公式やきまりを単に覚えるだけで、**根拠を理解したり、問題を解く際に、もっと簡単な方法とか別の解き方がないか追究したりする姿勢に欠けている面**が見られます。また理科の学習が日常生活と結び付いていない面も見られます。

.....

## 5 課題解決に向けた方策

本町は各中学校区で小中一貫教育に取り組み、協同学習の理念のもと、共通理解と実践をする動きがあります。担当者会や研修会、授業参観を通して、さらに充実させていきたいと考えます。また小中学校で家庭学習の方法についても話し合いを深めていきます。特に家庭学習における予習や復習の内容、自主学習の取組を検討していきたいと考えます。地域との連携においては、各学校でコミュニティ・スクールの活動が充実してきています。日々の教育活動はもちろん、土曜開校を生かして、防災教育やキャリア教育の充実を図ってきたいと考えます。また、各中学校区を基盤とした学校運営協議会について協議を重ね、小中一貫教育の一層の推進を図ります。各学校では、PTA、CSと協力してあいさつ運動やメディアの視聴制限を設けるなど取り組んでいます。保護者へのさらなる呼びかけを行ってきたいと考えます。保護者自身がPTA活動や保護者会などへ主体的に参加できる仕掛けや雰囲気作りを学校、PTAが連携して取り組むよう促していきたいと思います。また地域や社会に貢献するなど人の役に立つ子どもを育成するためにボランティア活動により一層積極的に参加させたいと考えます。

